

事業系ごみ処理手数料の改定について

1 概要

・事業系ごみの処理手数料について、処理原価及び県内他市の状況を考慮した価格への改定を行い、ごみ排出量の削減を図る。

現 行	改 定 案
【燃やすごみ施設持ち込み分】 1, 200円/100kg	【燃やすごみ施設持ち込み分】 <u>1, 500円/100kg</u>
【指定袋料金】 ●中サイズ(25ℓ)：1枚165円 (販売価格は10枚入り1, 650円) ●大サイズ(40ℓ)：1枚255円 (販売価格は10枚入り2, 550円)	【指定袋料金】 ●中サイズ(25ℓ)：1枚 <u>206円</u> (販売価格は10枚入り2, 060円) ●大サイズ(40ℓ)：1枚 <u>318円</u> (販売価格は10枚入り3, 180円)

2 背景・経緯

・本市のごみ総排出量のうち事業系ごみは全体の3割を占めその殆どは燃やすごみ。総排出量が年々減少するなかで、事業系燃やすごみの排出量は横ばい傾向。

・事業系ごみについては廃棄物処理法により、事業者自らの責任において処理することが義務付けられており、市町村において処理する場合でも本来、処理原価相当の手数料を課すべきだが、前回改定時(旧川口町合併直後の平成23年度)においては合併地域を考慮し、当時の処理原価(1,500円/100kg)の80%である1,200円で料金設定。

・しかしながら、現状の処理原価1,670円※は、現行の手数料額を大きく上回る。

※現行手数料による徴収を開始した平成25年度から令和元年度の7年間の処理原価の平均

・本市最後の合併から10年が経過し、使用料・手数料の適正な負担の必要性が求められている状況を踏まえ、事業系ごみ処理手数料について引き上げを行う。

改定額は、処理原価並びに県内他市の状況を考慮し、1,500円(施設持ち込み分)としたい(25%の増額)。指定袋料金も同様の増額率(25%)とする。

3 手数料の改定時期

・関連条例(長岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例)を令和3年3月に改正

・条例改正後は事業者に対する周知期間を設け、令和4年1月から改定後の新料金による徴収を実施。